



The 56th
KAWAI
MUSIC COMPETITION

第56回カワイピアノコンクール全国大会 連弾部門A・Bコース
最優秀指導者賞受賞

すぎき あさこ
須崎 朝子 先生

この度は、金原璃音さん、御手洗舞奈さんの大賞受賞とともに、私にまでこのような歴史あるコンクールの素晴らしい賞を授けてくださり、ありがとうございます。改めて、関係者の方々にお礼申し上げます。

二人は、昨年も全国大会において銀賞を受賞したのですが、そこで貴重な経験をさせていただいたことで、またあのステージに立ちたい！という気持ちが生まれたのでしょうか。全国大会が終わると同時に来年もぜひチャレンジしたいとの意思表示がありました。

今年は、どうしたら昨年の自分達を超えられるか、二人で選曲から話し合い、曲のイメージをどのようにピアノの音にしていくか、互いに意見を出しながら練習を重ねていたようです。こうした二人の頑張りが今回の受賞に結びついたと思っています。

幼い頃からずっとみてきた二人の成長は、私にとって何よりも嬉しいことでした。今回の経験を糧として、より一層自分達の音楽の世界を広げて行って欲しいと願っています。

～プロフィール～

広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了（教育学博士）。著書に『幼稚園・保育園で人気の創造性を育む 音楽あそび・表現あそび：毎日の活動から発表会まで』がある。

これまで様々なピアノコンクールで指導者賞を受賞するとともに、審査員を務める。

広島都市学園大学准教授、広島大学客員准教授。



The 56th
KAWAI
MUSIC COMPETITION

第56回カワイピアノコンクール全国大会 ソロ部門Sコース
最優秀指導者賞受賞

すみた さとこ
住田 智子 先生



この度は伝統あるカワイピアノコンクールで、思いがけずこのような名誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。心より感謝申し上げます。

大賞を受賞された金森愛さんと出会ったのは彼女が小学1年生の時。楽譜にたくさんの絵と場面ごとに物語を書き込んでイメージを膨らませて音楽を追求し、言葉を紡ぐように楽しそうに演奏する姿に大変驚き感激した事を今でも鮮明に覚えています。

その後も音楽への探究心・向上心は常に変わることなく、現在は地元の大学に通いながら、東京でも素晴らしい先生から貴重なアドバイスをご教授いただける機会に恵まれ、より深い理解の上に、溢れる感性や楽曲に対する熱い思いをコントロールし表現出来るようになってきた事を本当に嬉しく頼もしく思っています。

又、しっかりと支えてくださるご家族の熱いサポートにも頭が下がります。これからも全ての事柄に感謝の気持ちを忘れず、持ち前の素直さ、謙虚さ、直向きさで真摯に曲と向き合い、心に残る音楽を奏で続けてほしいです。

私もこの素晴らしい賞を励みに、生徒たちと共に精進して参ります。本当に有難うございました。

～プロフィール～

相愛大学音楽学部卒業。

ピティナ指導者賞を33回、特別指導者賞を2回受賞。カワイ音楽コンクール、日本クラシック音楽コンクール、ショパン国際ピアノコンクール inASIA などで優秀指導者賞を受賞。

ピティナ・ピアノコンペティション、ショパン国際ピアノコンクール inASIA の全国大会をはじめ、ピアノオーディション、カワイ音楽コンクール、バッハコンクール、ブルグミュラーコンクール、全日本ピアノコンクールなどの審査員を務める傍ら、各種コンクールのアドバイスレッスンや公開レッスンも行う。

全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ピアノ教育連盟山陰支部運営委員。